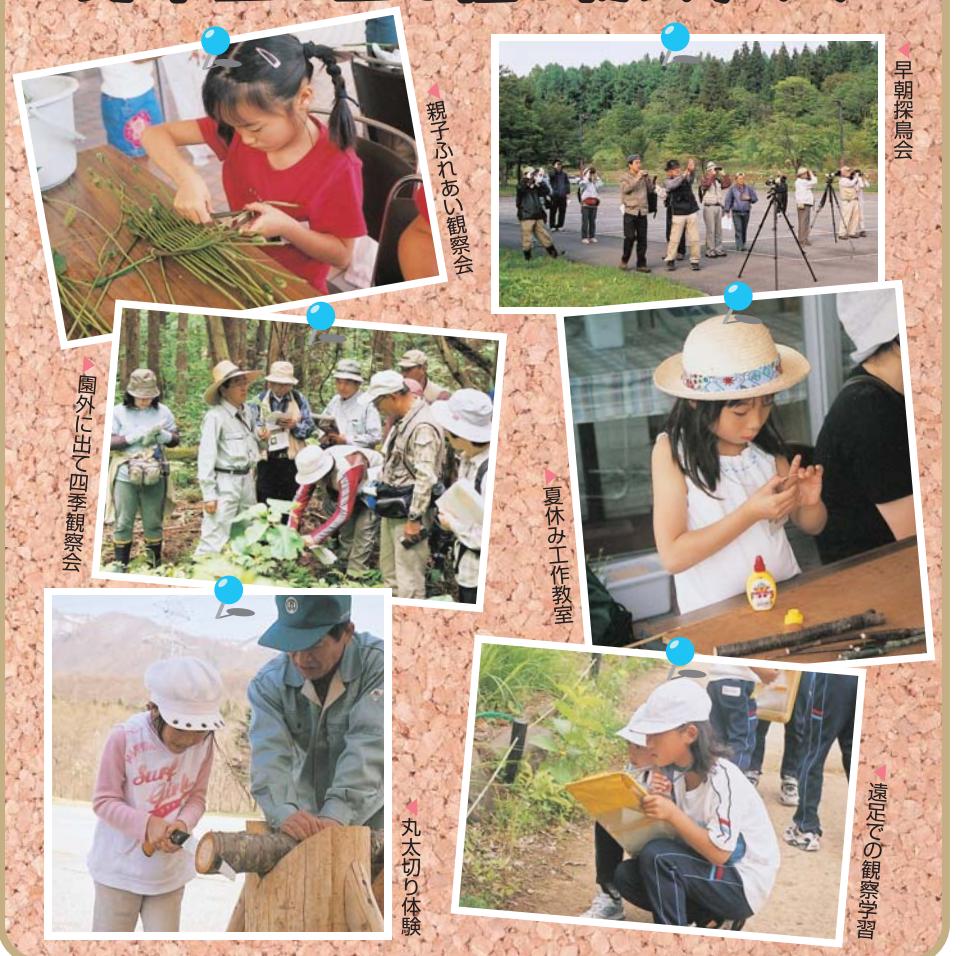


野草園の主な催し物スナップ



4月～7月に
来園された
幼稚園、保育園、
小・中学校

幼稚園・保育園

おぞら幼稚園
井幼稚園
井第二幼稚園
山形幼稚園
原幼稚園
短大附属幼稚園
どもの城保育園

小学校

- 形市立桜田小学校
- 形市立楯山小学校
- 形市立出羽小学校
- 大附属小学校
- 江町立本郷東小学校
- 山市立本庄小学校
- 童市立天童南部小学校

中学校
形市立第六中学校

あ
し
らせ

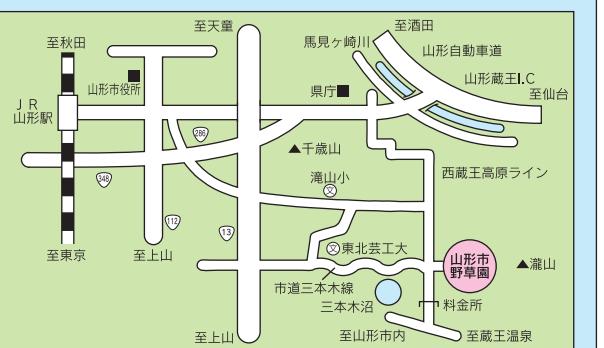
主な催し
8月▶11月

●開園時間等

- 自然工作コーナー
7月22日(土) ▶ 8月20日(日)
 - 夏休み工作教室 8月6日(土)
 - 四季観察会 8月20日(日)
 - ボタニカルアート作品展
8月29日(火) ▶ 9月10日(日)
 - 秋の山野草展
9月16日(土) ▶ 9月18日(月)
 - 山野草の育て方教室 9月17日(日)
 - 野草園秋祭り 10月8日(日)
 - 四季観察会 10月15日(日)
 - 冬芽の観察ときのこ鍋会 10月29日(日)
 - きのこ写真展
10月7日(土) ▶ 10月22日(日)
 - 写真コンテスト入賞作品展
11月1日(水) ▶ 11月26日(日)
 - ・ 開園時間
4月～5月 9:00～16:30
6月～8月 9:00～18:00
9月～11月 9:00～16:30
 - ・ 休園日／毎週月曜日
ただし、月曜日が祝日・
休日の場合はその翌日
 - ・ 冬期間休園／12月～3月
 - ・ 入園料
大人 / 300円
高校生 / 150円
小中学生 / 100円
(ただし、土曜日は)
(小・中学生無料)
 - 团体割引 (20人以上の場合)
大人 / 240円
高校生 / 120円
小中学生 / 80円

●交通案内

- ・JR山形駅から山形交通路線バス西蔵王・野草園行き終点下車
 - ・山形自動車道蔵王I.Cより西蔵王高原ラインを蔵王温泉方面へ15分
 - ・滝山小、芸工大方面より岩波経由で自家用車15分



山形市

野草園だより

31号



ヒゴダイ (キク科)

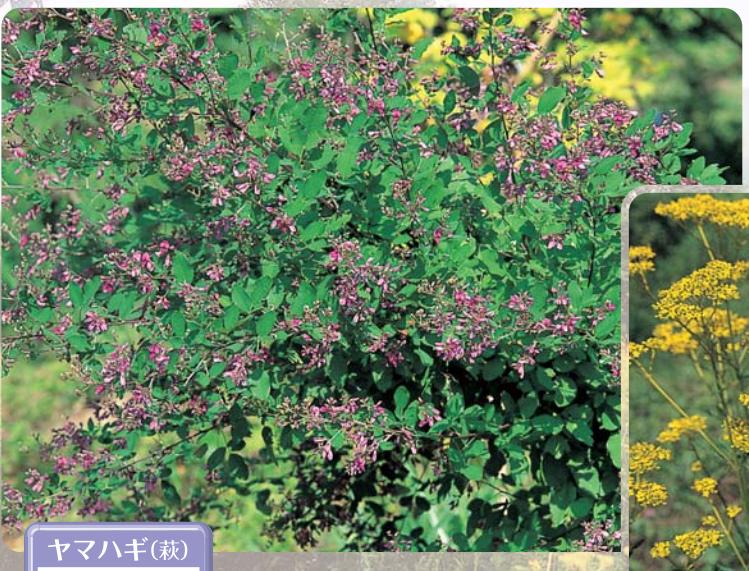
花期 8~10月

花は径5cmほどのルリ色の球形で美しい。ヒゴダイの仲間は、世界に120種ほどあるが、日本での自生はまれで、本州中部地方南部から九州にかけての日当たりのよい草地に隔離分布する。

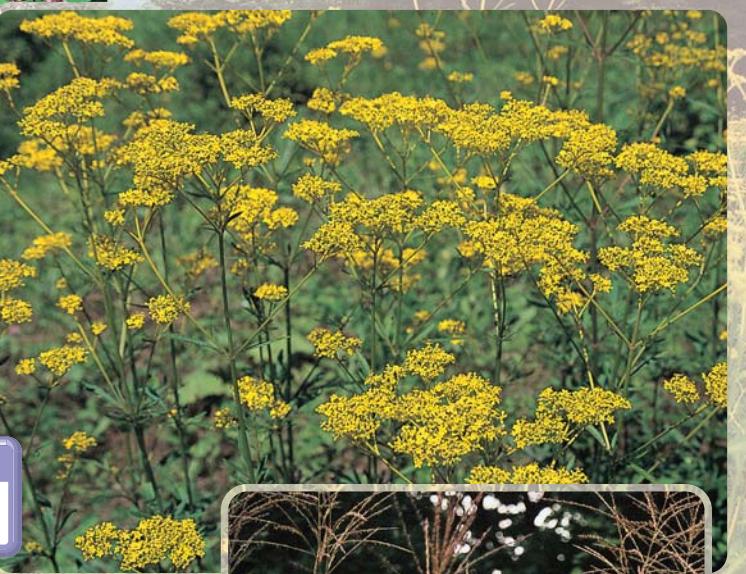
一夏から秋、七草の庭・

花の草原に咲く花々

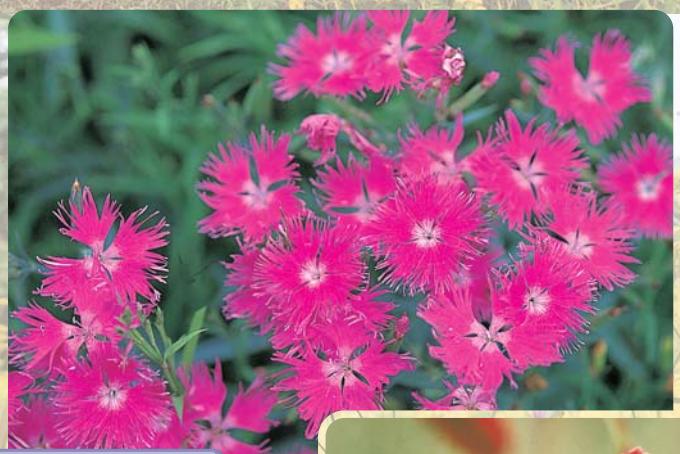
瀧山に入道雲がわき、ミンミン
秋の七草と呼ばれ
七草の庭とその隣に広がる
ゼミが鳴き出す頃、
る花々が咲き始めます。
花の草原に咲く花々を紹介します。



ヤマハギ(萩)
マメ科
花期 8▶9月



オミナエシ(女郎花)
オミナエシ科
花期 8▶10月



カワラナデシコ(撫子)
ナデシコ科
花期 7▶10月



フレモコウ
バラ科
花期 8▶10月



ススキ(尾花)カヤ
イネ科
花期 8▶10月



キキョウ(朝貌)
キキョウ科
花期 8▶9月



フジバカマ(藤袴)
キク科
花期 8▶9月



ヒオウギ
アヤメ科
花期 7▶9月



クズ(葛)
マメ科
花期 7▶9月



オオケダテ
タデ科
花期 8▶11月

秋の野に

咲きたる花を指折り

かき数ふれば七種の花

萩が花 尾花 葛花

撫子の花 女郎花

また藤袴 朝貌の花

万葉集 山上憶良

自然のたくみさ・ふしぎさ

お盆になると思い出す紅紫の花

お彼岸やお盆には、ご先祖様や故人への感謝の気持ちを表すために、お線香とお花を持って墓参りをする。古くからおこなわれてきた日本の伝統行事の一つではないでしょうか。そこで、ちょっと皆さんにお聞きします。旧盆のお墓参りの際には、どんな花を持っていかれますか？「花屋さんできれいな花を数種類選んで」とか「庭先に咲いている花を選んで」といった答えが多いかと思います。でも、日本では古くから、ポンバナと呼ばれ、お盆には特に多くの墓に供えられた花があるのです。その花の名前は「ミソハギ」又は「エゾミソハギ」(地域のよっては別の花を盆花と称して供えている地域もありますが。)がその花です。

そこで今回は、エゾミソハギを取り上げ、詳しく観察してみることにしましょう。

3種類の花をもつミソハギ科の植物

エゾミソハギ(学名 *Lytbrum salicaria* L.)は、北海道から九州まで日本全土の湿った場所に自生する多年生の草本で、草丈は1m以上にもなるミソハギ科の植物です。葉は対生し、長皮針形で、葉柄ではなく、基部は心臓形で多少茎を抱きます。ミソハギも葉柄はありませんが、茎を抱くことはありませんので、この違いで見分けることができます。花は直径が1cmほどで、葉の付け根に集まってつきます。花のつくりを観察してみましょう。エゾミソハギの花は、緑色をし、先が6つに分かれた円筒形のカクと、紅紫色をした6枚の花弁、それから、12本の雄しべと、1本の雌しべからできています。雄しべと、雌しべの長さに注目して観察してみましょう。一般に種が同じであれば雄しべと雌しべの長さ、(雄しべと雌しべ

の位置関係)は同じですが、このエゾミソハギの場合、長さの違う雄しべと雌しべの組み合わせによって3種類の形の花に分けることができます。たとえば、長い雌しべ(約10mm)、中くらいの雄しべ(約7mm)、短い雄しべ(約4mm)の組み合わせ[長柱花]、長い雄しべ、中くらいの雌しべ、短い雄しべの組み合わせ[中柱花]、長い雄しべ、中くらいの雄しべ、短い雌しべの組み合



エゾミソハギの花

から、2種類の花の形がありましたね。)この花の形の違いは、種子の結果率(花が果実となる率)に関係があるようで、現在、長い雌しべには長い雄しべの花粉がついた場合に、中くらいの雌しべには中くらいの雄しべの花粉がついた場合に、短い雌しべには短い雄しべの花粉がついた場合に、結果率、また1果あたりの種子数が良いとの研究結果がでています。つまり、自家受粉より他家受粉の方が良い種子ができるやすいといったことのようです。一見同じように見えるエゾミソハギの花ですが、こうして丹念に観察していくと意外なことがわかるものですね。皆さんもルーペを片手に野外に出かけてみてはいかがですか。

(伊藤)

参考文献：「フィールドウォッチング④」北隆館
「植物の世界 44」朝日新聞社



水田の畦に刈られることなく育てられたエゾミソハギの大株

植物ウォッチング

野草園の植物と蝶の関係

野草園には沢山の蝶が飛んでいます。ほとんどの蝶が園内で世代交代をしていますが、中には遠くから旅をしてきてまた帰っていく蝶もいます。

アサギマダラ ▶ マダラチョウ科



▲ガガイモ

フジバカマやヒヨドリバナの仲間の花に集まります。渡りをする蝶で奄美諸島まで記録があります。力ガイモ科の植物が食草です。

アカタテハ ▶ タテハチョウ科



▼アカソ

ハーブ園のエキナケアやオケラ等でよく吸蜜をしています。成虫で冬を越します。食草はイラクサ科の植物でアカソなどです。

ウラギンヒョウモン ▶ タテハチョウ科



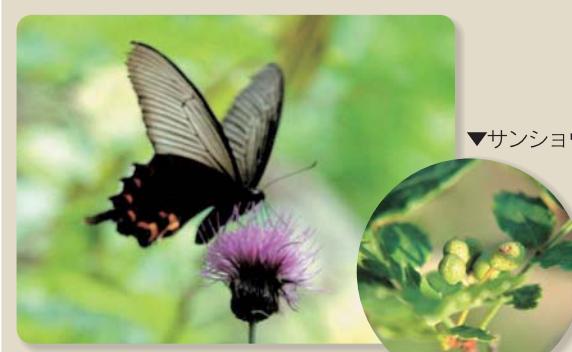
タチスミレ
▼
野草園で普通に見られるヒョウモンチョウの仲間では最も数の少ない蝶でマツムシソウに良く来ます。スミレ類が食草です。

ベニシジミ ▶ シジミチョウ科



ギエシジミノ
▼
普通にいる蝶で、ヒメジヨオンやユウガギクなど自分の大きさに合った花に良く来ます。食草はタデ科のギシギシ類です。

クロアゲハ ▶ アゲハチョウ科



▼サンショウ

林の中が好きな蝶で、あまり草原には出てきません。よくノアザミなどアザミ類やユリ類の花で吸蜜しています。食草はミカン科の植物です。

キアゲハ ▶ アゲハチョウ科



▼セリ

何処にでもいる普通の蝶で、平地から高山帯まで住んでます。ユリの花など大形の花が好きなようです。食草はセリ科の植物です。